

2015年4月24日  
株式会社日本政策金融公庫  
中小企業事業本部  
保険企画部

## 第184回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2015年1～3月期実績、2015年4～6月期見通し)

[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している  
～景況はやや悪化しているが、先行きについては持ち直しの見込み～

- |        |   |
|--------|---|
| 【金融関連】 | ○ 資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小した。マイナス幅の縮小は4期ぶり。<br>○ 借入難易感D. I. は、横ばいとなった。<br>○ 今期(15年1～3月)に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。                                   |
| 【保証利用】 | ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、横ばいとなった。<br>○ 保証利用要請D. I. の次期見込みは、やや低下した。<br>※ 保証利用要請D. I. . . . 金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。 |
| 【生産等】  | ○ 生産・売上げD. I. は、マイナス幅が拡大し、3期ぶりの悪化となった。先行きについては、持ち直しが見込まれる。<br>○ 採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小した。   |

<調査の要領> 調査時点 2015年3月中旬  
調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先  
14,000企業を対象としており、**回答企業の約8割が従業員20人以下の小規模企業**となっています。  
有効回答企業数 3,293企業  
回答率 23.5%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:前田、宮本、角)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

## 第184回 信用保証利用企業動向調査 (2015年1～3月期実績、2015年4～6月期見通し)

### < 業種別・規模別回答数 >

### 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している

— 景況はやや悪化しているが、先行きについては持ち直しの見込み —

#### 【金融関連】

○資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小。マイナス幅の縮小は4期ぶり。

○借入難易感D. I. は、横ばい。

○今期(15年1～3月)に借入を実施した企業の割合は、やや減少。

#### 【保証利用】

○今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、横ばい。

○次期における保証利用要請D. I. は、やや低下。

※保証利用要請D. I. は、金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合

#### 【生産等】

○生産・売上げD. I. は、マイナス幅が拡大し、3期ぶりの悪化。先行きについては、持ち直しの見込み。

○採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小。

業種別	区 分	サンプル数	回答数		回答率
			回答数	構成比	
業 種 別	製造業	2,938	784	23.8	26.7
	内需関連製造業	1,203	319	9.7	26.5
	食 料 品	423	108	3.3	25.5
	織 維 品	407	98	3.0	24.1
	木 材・家 具	373	113	3.4	30.3
	機械金属関連製造業	1,735	465	14.1	26.8
	機 械	611	174	5.3	28.5
	電 気 機 器	342	107	3.2	31.3
	金 属	782	184	5.6	23.5
	非製造業	11,062	2,509	76.2	22.7
建設業	3,608	840	25.5	23.3	
卸売業	2,586	673	20.4	26.0	
小売業	2,211	471	14.3	21.3	
サービス業	2,657	525	15.9	19.8	
規 模 別	0～20人	—	2,514	76.3	—
	0～2人	—	518	15.7	—
	3～5人	—	805	24.4	—
	6～20人	—	1,191	36.2	—
	21人以上	—	506	15.4	—
	21～50人	—	360	10.9	—
	51人以上	—	146	4.4	—
不明	—	273	8.3	—	
合 計		14,000	3,293	100.0	23.5

## (1) 資金繰り

・資金繰りD.I. は、マイナス幅がやや縮小した。  
マイナス幅の縮小は4期ぶりである。

		2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3	2015/4-6
資金繰りD.I.	実績	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 12.6	▲ 14.7	▲ 11.6	
	見通し	▲ 6.5	▲ 15.5	▲ 10.1	▲ 10.4	▲ 12.4	▲ 10.3

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

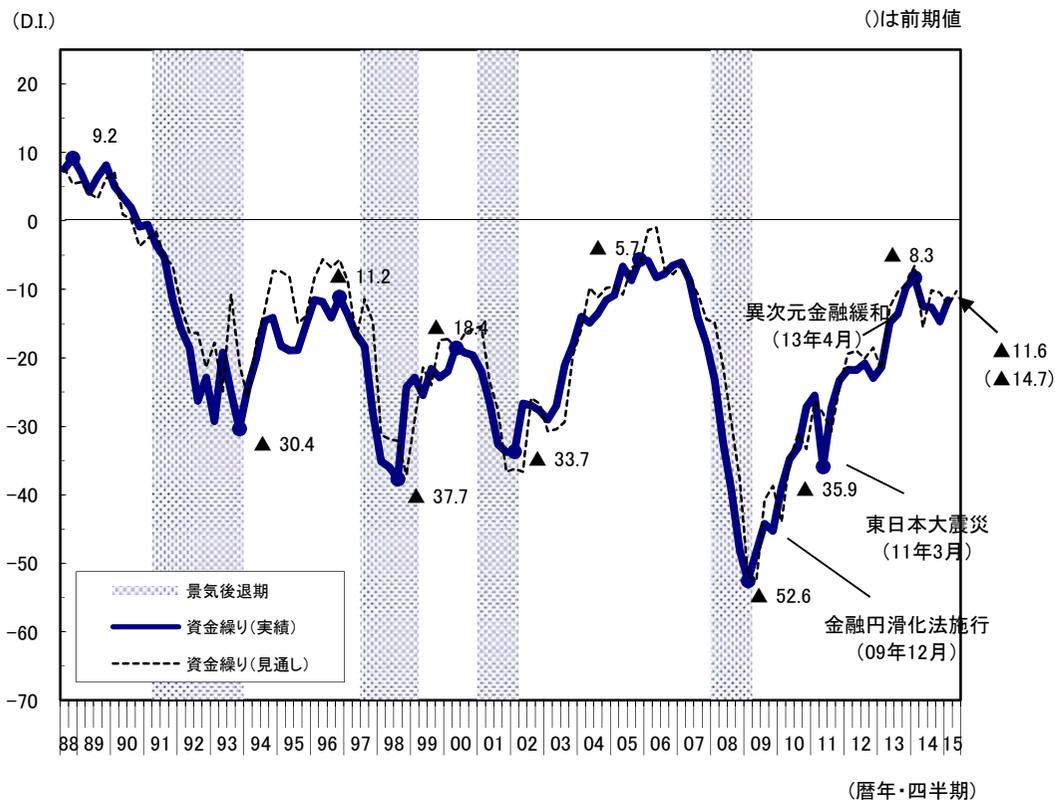
## (2) 借入難易感

・借入難易感D.I. は、横ばいとなった。

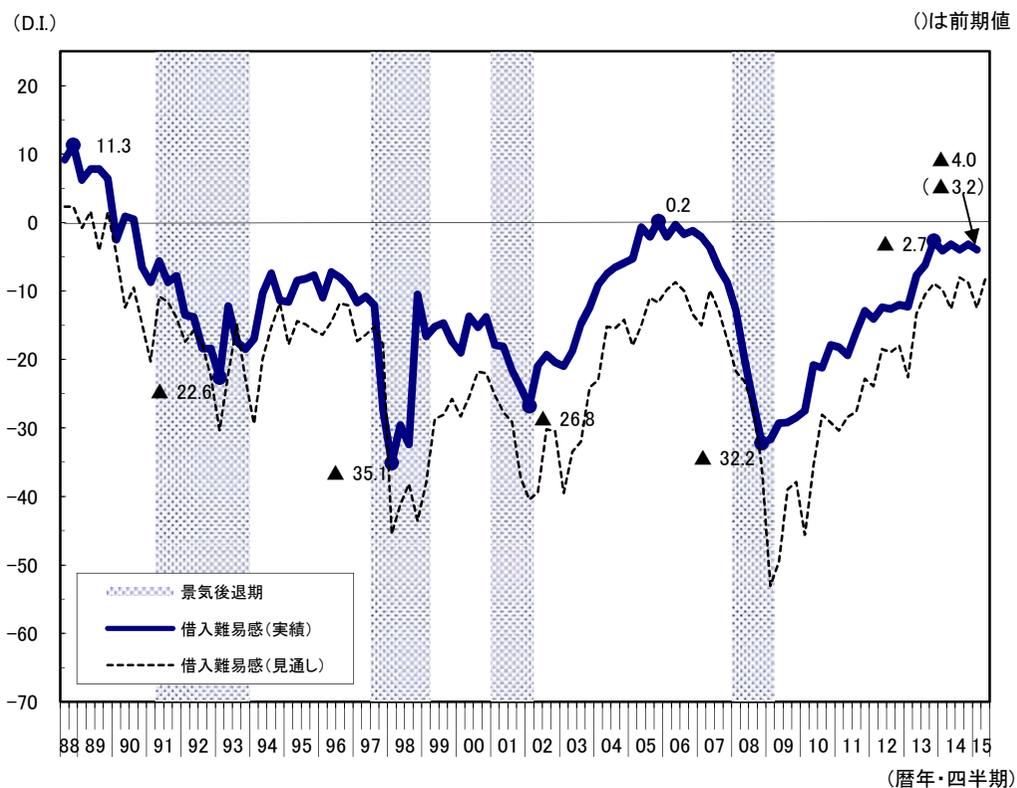
		2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3	2015/4-6
借入難易感D.I.	実績	▲ 4.1	▲ 3.2	▲ 4.0	▲ 3.2	▲ 4.0	
	見通し	▲ 9.8	▲ 12.6	▲ 8.0	▲ 8.8	▲ 12.5	▲ 8.1

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

### 資金繰りD.I. (季節調整値)の推移



### 借入難易感D.I. の推移



### (3) 借入れ状況

・今期(15年1~3月)に借入を実施した企業の割合は、やや減少した。

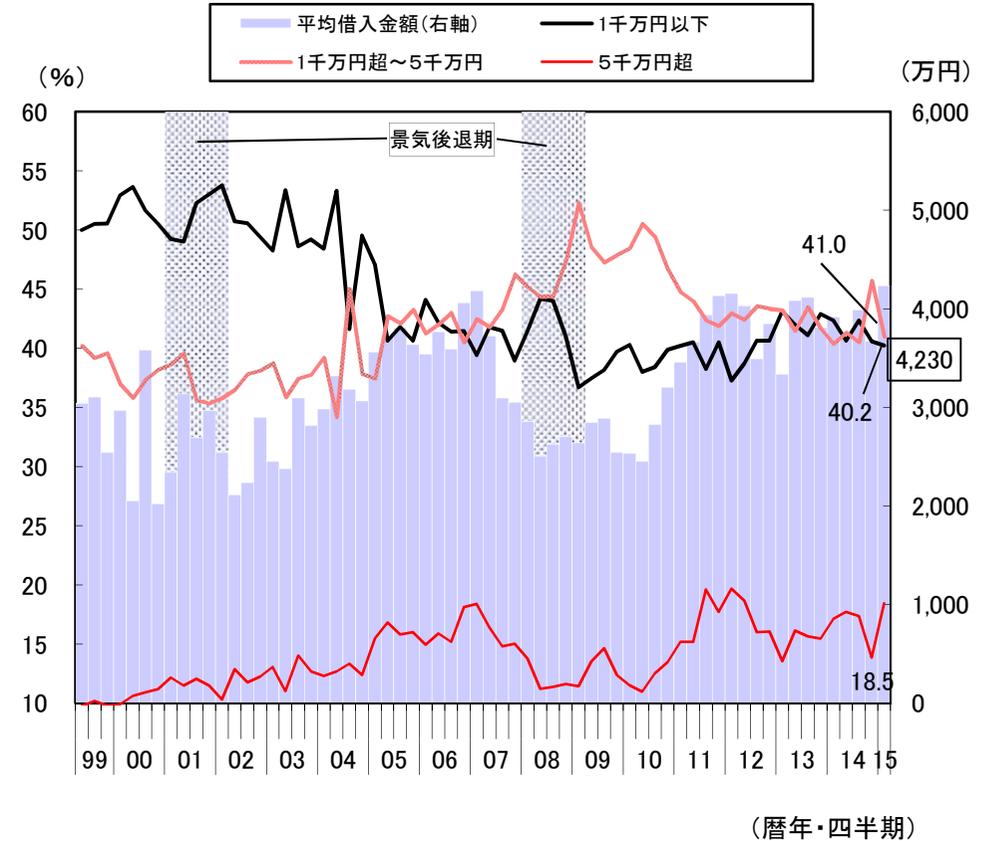
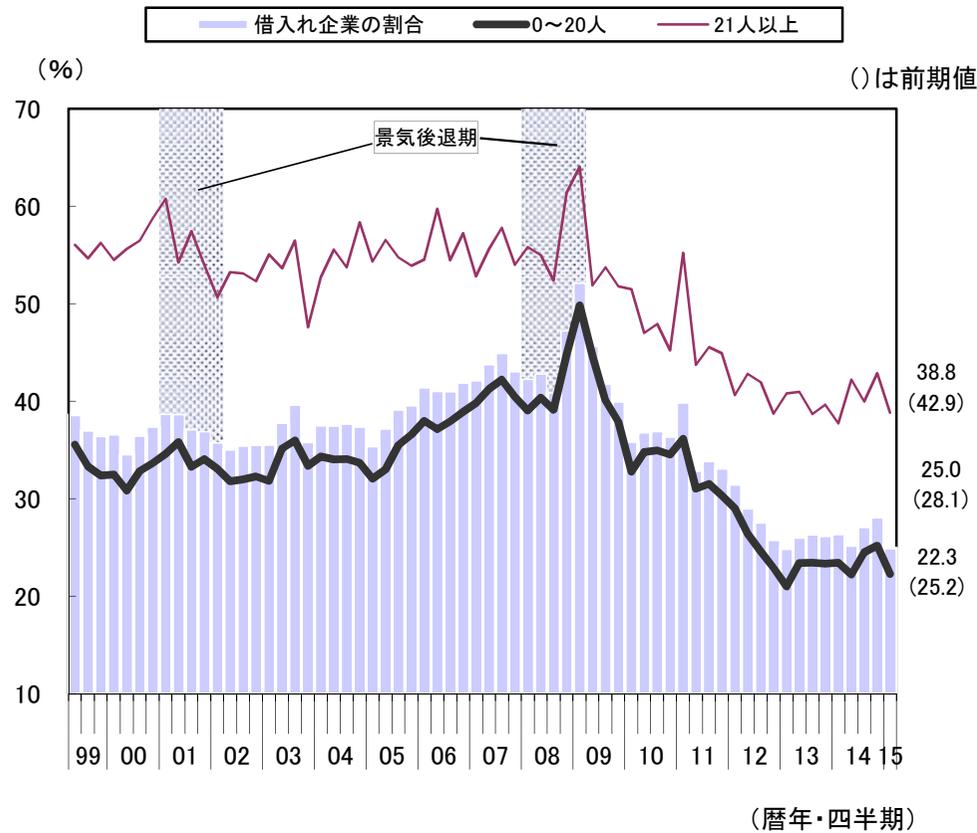
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円超~5千万円」がやや減少、「5千万円超」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3
借入れ企業の割合	26.4	25.2	27.1	28.1	25.0
0-20人	23.4	22.2	24.5	25.2	22.3
21人以上	37.7	42.2	40.0	42.9	38.8

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

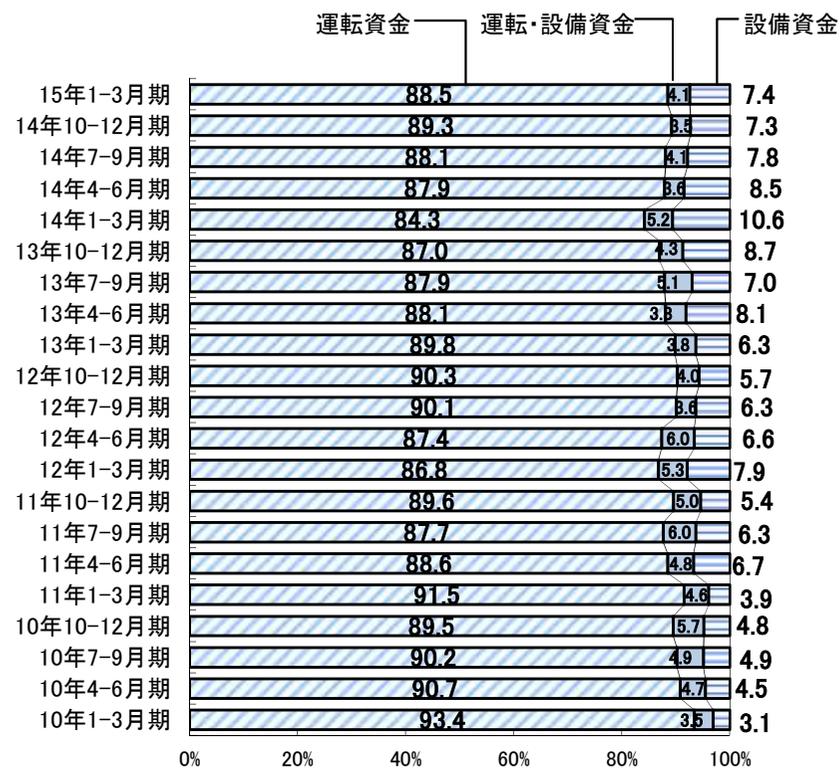
	2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3
1千万円以下	42.4	40.6	42.3	40.6	40.2
1千万円超~5千万円	40.4	41.4	40.5	45.7	41.0
5千万円超	17.1	17.7	17.4	13.9	18.5



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

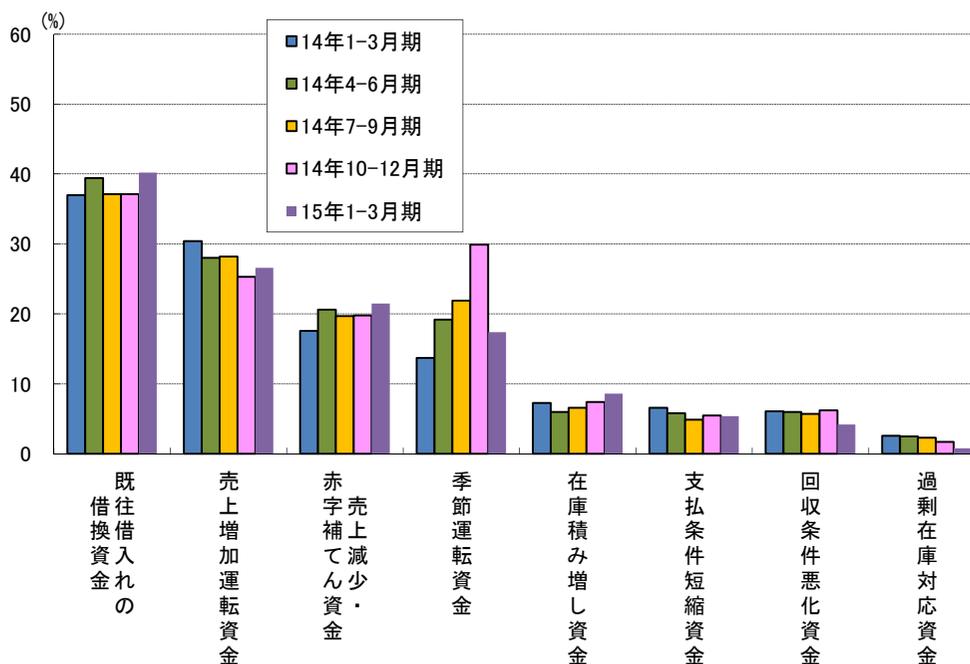
- ・資金使途については、運転資金及び設備資金ともに横ばいとなった。設備資金については、13年4-6月期以降は8%前後で推移し高い水準となっている。
- ・運転資金の内訳では、「既往借入れの借換資金」の割合がやや増加した。

### ③-1 資金使途の構成



### ③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既往借入れの借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
15年 1-3月期	40.2	26.6	21.5	17.4	8.6	5.4	4.2	0.8
14年 10-12月期	37.1	25.3	19.8	29.9	7.4	5.5	6.2	1.7
14年 7-9月期	37.1	28.2	19.7	21.9	6.6	4.9	5.7	2.3
14年 4-6月期	39.4	28.0	20.6	19.2	6.0	5.8	6.0	2.5
14年 1-3月期	37.0	30.4	17.6	13.7	7.3	6.6	6.1	2.6



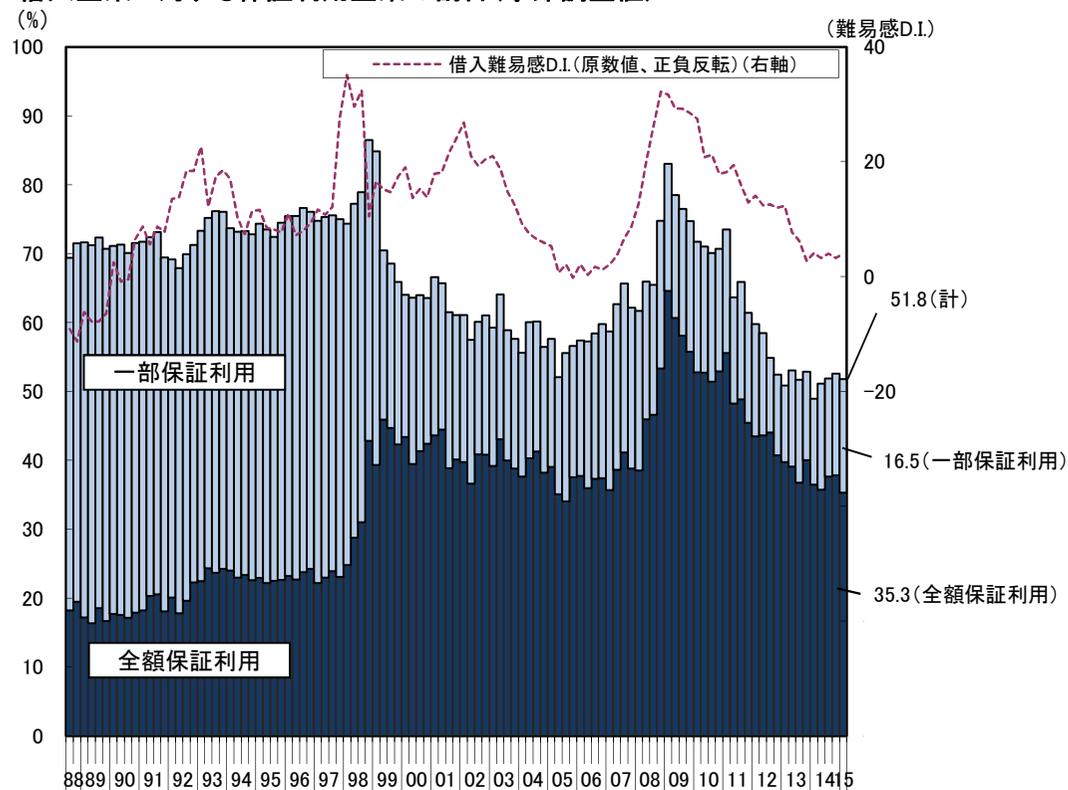
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。  
 2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

## (4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、横ばいとなった。

	2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3
保証利用企業の割合	48.9	51.1	51.9	52.6	51.8
全額利用	36.5	35.7	37.6	37.8	35.3
一部利用	12.4	15.4	14.2	14.8	16.5
プロパーのみ利用企業の割合	51.1	48.9	48.1	47.4	48.2

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(暦年・四半期)

## (4) - 2 金融機関からの保証利用要請

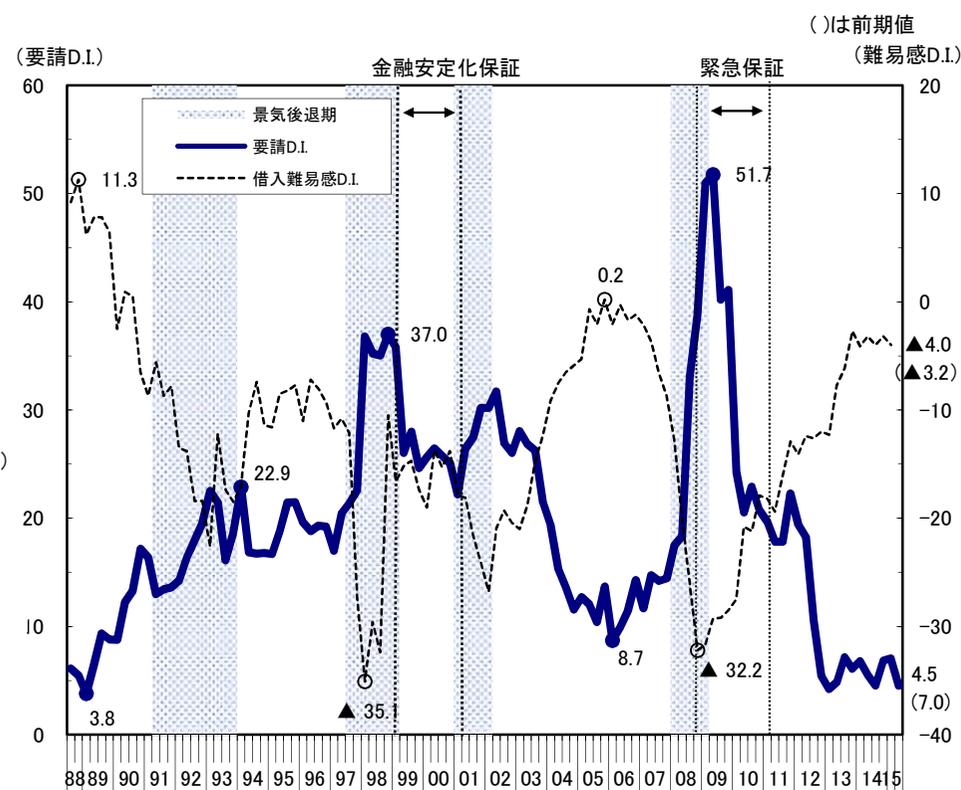
・次期(15年4~6月期)における保証利用要請D. I. は、やや低下した。

	2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3	2015/4-6
要請D.I. 見通し	6.8	5.5	4.5	6.8	7.0	4.5
借入難易感D.I. 実績	▲ 4.1	▲ 3.2	▲ 4.0	▲ 3.2	▲ 4.0	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。

2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D. I. (季節調整値)及び借入難易感D. I. の推移



(暦年・四半期)

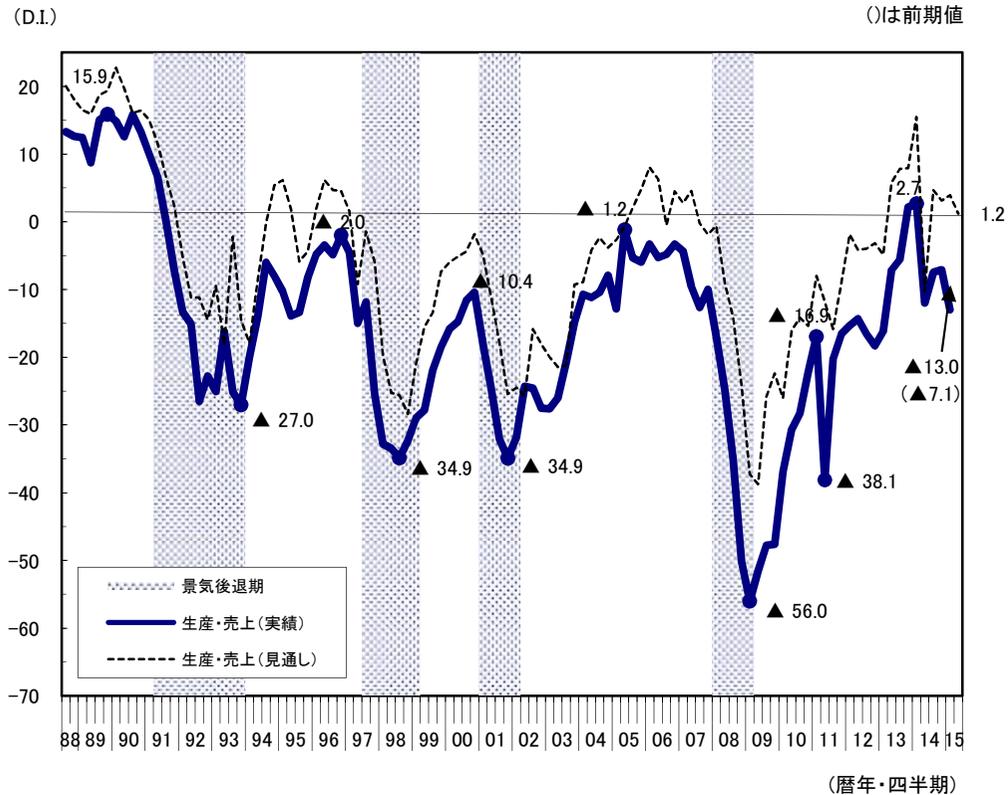
## (5) 生産・売上げ

・生産・売上げD. I. は、マイナス幅が拡大し、3期ぶりの悪化となった。先行きについては、持ち直しが見込まれる。

		2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3	2015/4-6
生産・売上げD.I.	実績	2.7	▲12.0	▲7.5	▲7.1	▲13.0	
	見通し	15.4	▲10.2	4.7	3.1	3.9	1.2

(注) 前期比。生産・売上げD.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

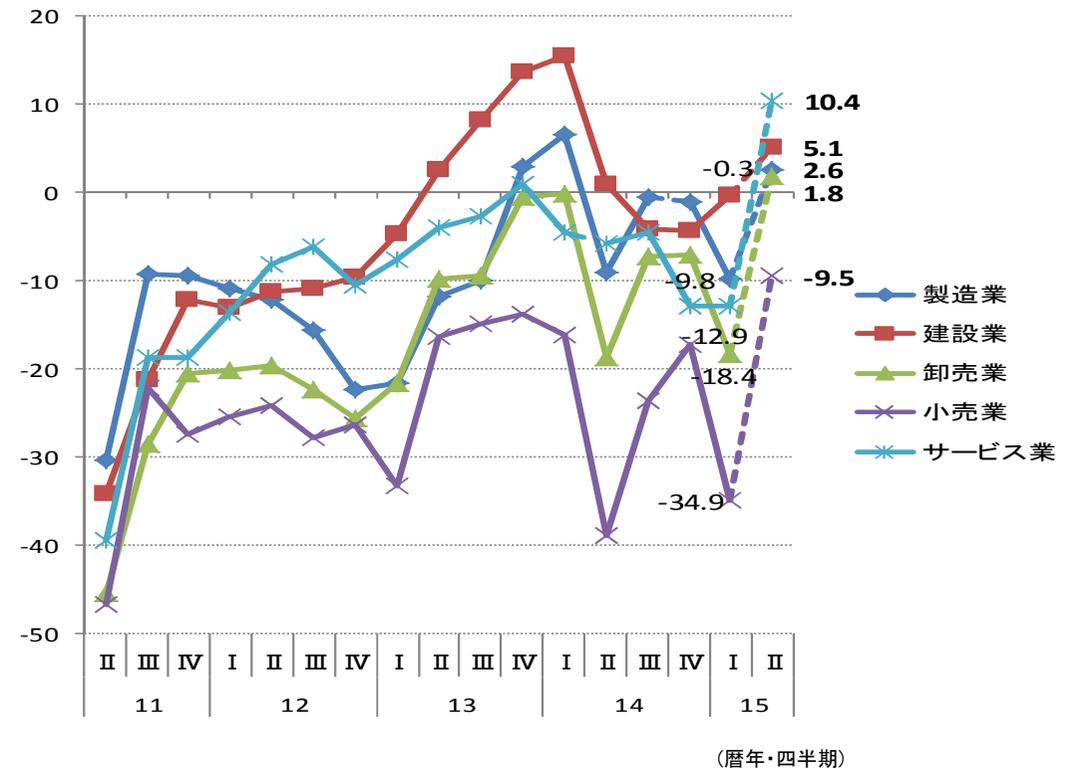
### 生産・売上げD. I. (季節調整値)の推移



## (参考)

・生産・売上D.I.(業種別)は、建設業以外の業種でマイナス幅が拡大した。  
 ・次期(4-6月期)の見通しは、全ての業種で改善を見込んでいる。

### 業種別生産・売上げD. I. (季節調整値)の推移

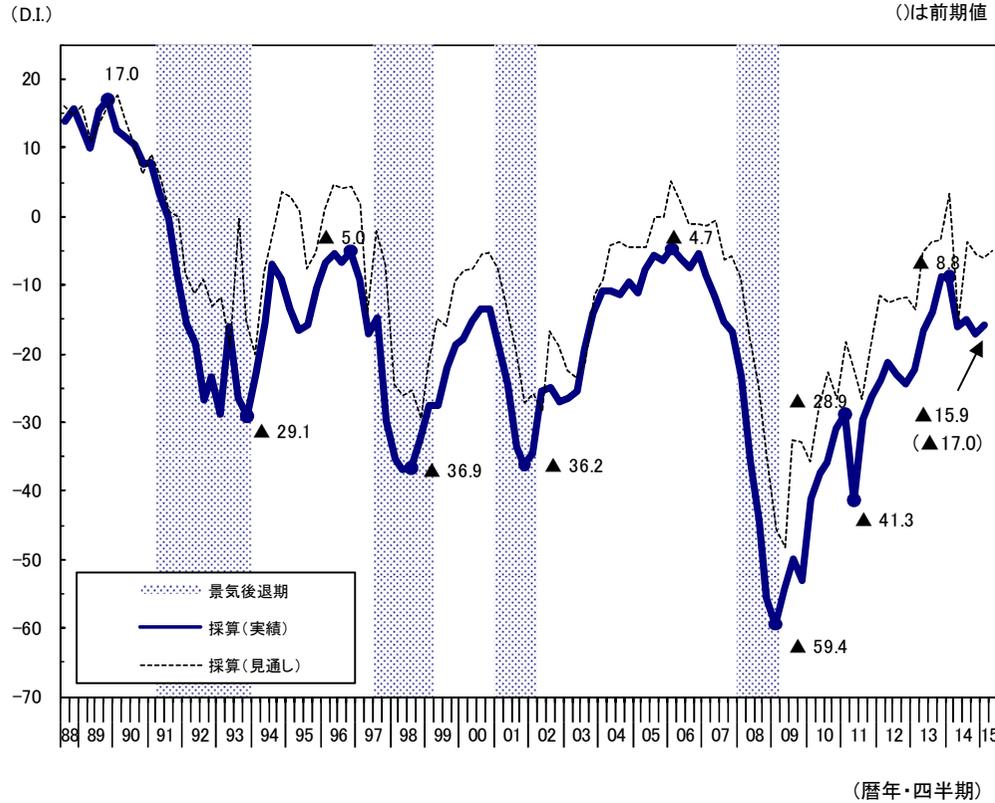


## (6) 収益

・採算D.I. は、マイナス幅がやや縮小した。

		2014/1-3	4-6	7-9	10-12	2015/1-3	2015/4-6
採算D.I.	実績	▲ 8.8	▲ 16.0	▲ 15.1	▲ 17.0	▲ 15.9	
	見通し	3.3	▲ 15.1	▲ 3.7	▲ 5.6	▲ 6.0	▲ 5.0

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

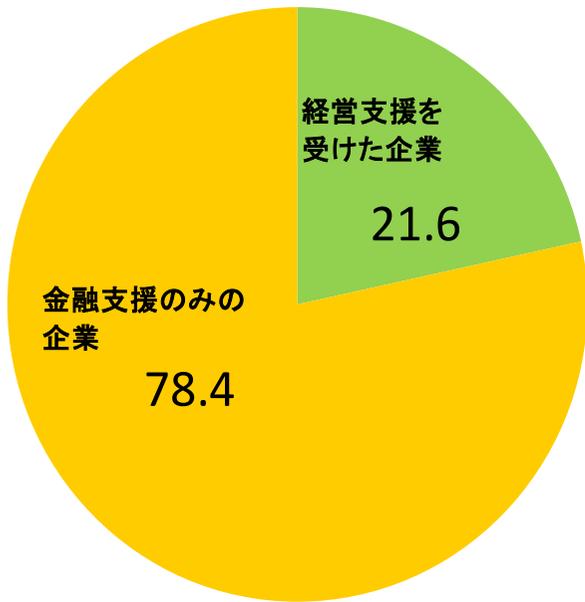


- ・ 中小企業の事業継続や成長・発展を支援していくためには、金融支援だけでなく経営支援の充実が従来以上に求められている中、金融機関や信用保証協会からの経営支援についての調査を実施。

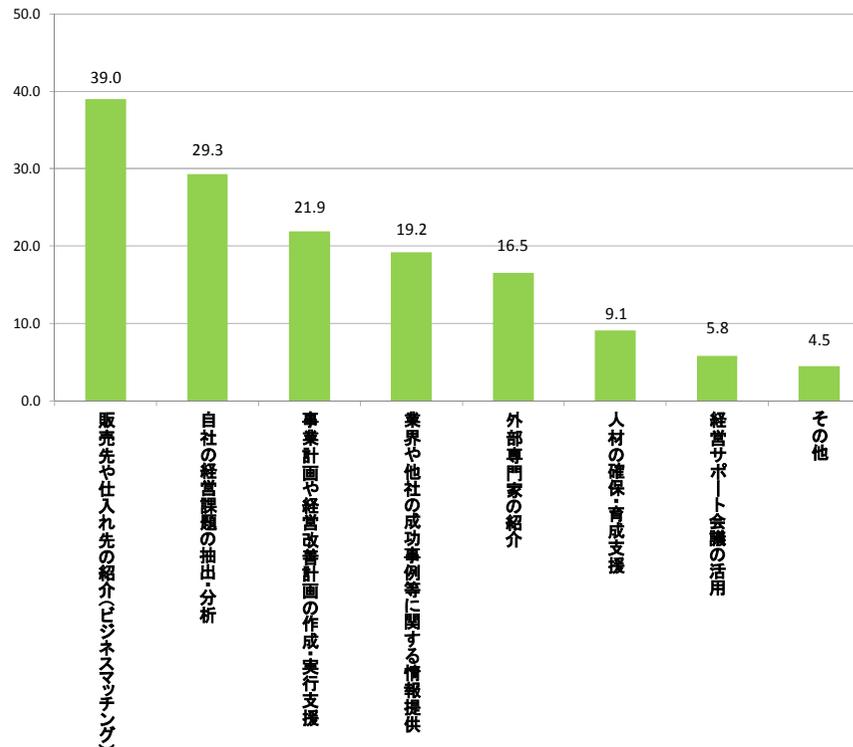
1. 金融機関や信用保証協会から受けた経営支援

- (1) 直近1年間に経営支援を受けた企業は21.6%となっている。
- (2) 当該企業が受けた経営支援の上位3項目は、①「販売先や仕入れ先の紹介(ビジネスマッチング)」(構成比39.0%)、②「自社の経営課題の抽出・分析」(同29.3%)、③「事業計画や経営改善計画の作成・実行支援」(21.9%)となっている。
- (3) 経営支援に対する満足度は、78.3%(満足している15.9%、概ね満足62.4%)となっており、8割弱の企業が満足感を得ている。

(1) 直近1年間に経営支援を受けた企業(構成比:%)

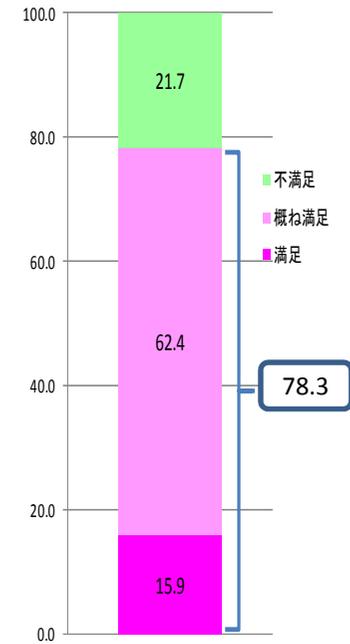


(2) 直近1年間に受けた経営支援(構成比:%)



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

(3) 経営支援の満足度(構成比:%)

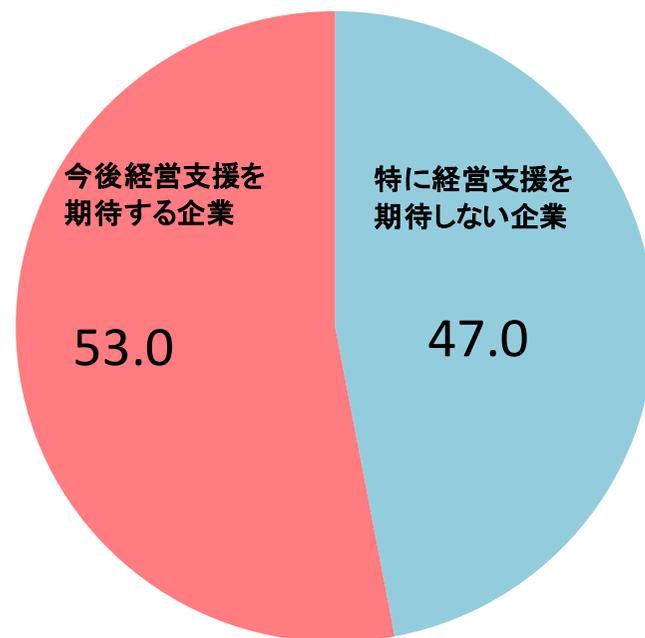


(注) 直近1年以前に経営支援を受けた企業も含めた回答となっている。

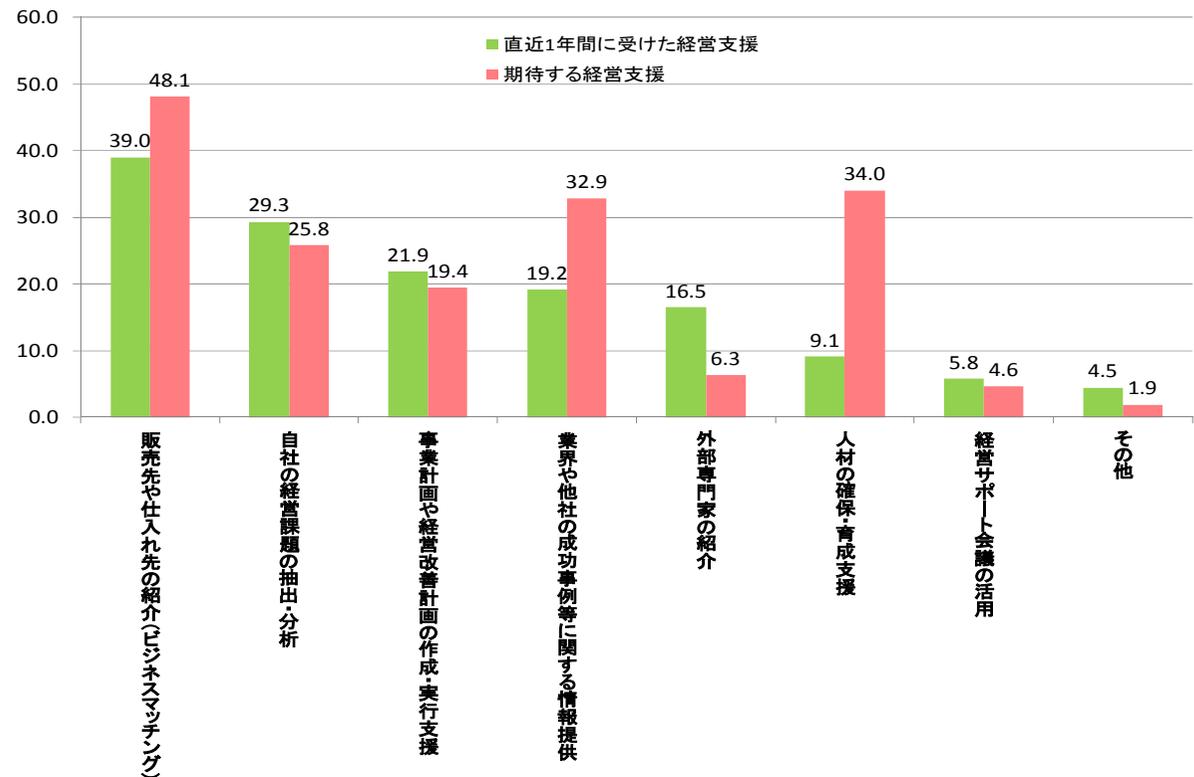
## 2. 金融機関や信用保証協会に期待する経営支援

- (1) 金融機関や信用保証協会に対して経営支援を期待する企業は53.0%となっている。  
 (2) 当該企業が期待する経営支援の上位3項目は、①「販売先や仕入れ先の紹介(ビジネスマッチング)」(構成比48.1%)、  
 ②「人材の確保・育成支援」(同34.0%)、③「業界や他社の成功事例等に関する情報提供」(同32.9%)となっている。

(1) 経営支援を期待する企業(構成比: %)



(2) 期待する経営支援(現状と期待の比較)  
(構成比: %)



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。